

作成日 2019/03/28

改訂日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	男前モノタロウ 除菌漂白剤(ブリーチ)
会社名	株式会社MonotaRO
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
整理番号	M190328

2. 危険有害性の要約 GHS分類

健康有害性	皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分1 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分1 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(呼吸器)
環境有害性	水生環境有害性(急性) 区分1 水生環境有害性(長期間) 区分1 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 H371 呼吸器の障害のおそれ H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。(P260)
 取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
 環境への放出を避けること。(P273)
 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)

応急措置

飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。(P301+P330+P331)
 皮膚又は髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。(P303+P361+P353)
 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
 ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。(P308+P311)
 直ちに医師に連絡すること。(P310)
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。(P363)
 漏出物は回収すること。(P391)

保管
廃棄

施錠して保管すること。(P405)
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の
廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
次亜塩素酸ナトリウム	5.0~6.0%	NaOCl	(1)-237	既存	7681-52-9
アルキルエーテル硫酸エ ステルナトリウム	0.1~1.0%	不明	不明	不明	125736-54-1
水酸化ナトリウム	1.0~5.0%未満	NaOH	(1)-410	既存	1310-73-2

分類に寄与する不純物及
び安定化添加物

情報なし

4. 応急措置

吸入した場合

万一、有害な塩素ガスを吸い込んだ場合には、直ちに
患者を風通しのよい場所に避難させ、安静にした後、
直ちに医師の診断を受ける。
手当てが遅れると生命にかかわる。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で十分に洗い流す。液が付着した衣
服や靴は直ちに脱ぐ。
速やかに医師の診断を受ける。
手当てが遅れると炎症を起こす恐れがある。
液が付着した衣服や靴は、よく洗ってから着用する。

眼に入った場合

そのまま放置すると失明の恐れがあるので、コンタ
クトレンズは外し、こすらずすぐに流水で15分以上洗い
流す。その後、すぐにSDSか本品を持参して眼科医
の診断を受ける。

飲み込んだ場合

直ちに口をすすがせて多量の水を飲ませる。
意識のない場合には、口から何も与えない。
無理に吐かせないで、速やかに医師の診断を受け
る。

その他

濃い液を多量に飲み込んだ場合、手当てが遅れると
生命にかかわる。
使用中、目にしみたり、せき込んだり、気分が悪くなっ
た場合には、使用をやめてその場から離れ、洗眼、う
がいをする。

医師に対する特別な注意事項

本製品のガスを吸入したものは、安静にさせ、その経
過を観察しなければならない。

5. 火災時の措置

消火剤

粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭
素、砂、霧状水
この製品自体は、燃焼しない。

特有の消火方法

消火作業は、風上から行う。周囲の設備等に散水し
て冷却する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置

作業の際には、必ず保護具(ゴム手袋、保護眼鏡、保
護衣、ゴム長靴等)を着用する。
屋内の場合、作業が終わるまで十分に換気を行う。
多量の場合、人を安全に退避させる。

環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
 大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に
 処理されずに環境へ流出しないように注意する。
 漏出物を直接河川や下水に流してはいけません。
 悪臭又は刺激性が強いので、周辺の住民に漏洩の
 生じたことを通報する等の適切な措置を行う。
 少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で
 吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等によく
 拭き取る。
 多量の場合は、周囲への流出を防止し、安全な場所
 に導いてから処理する。酸と接触すると、塩素ガスを
 発生するため、中和などで酸を使用しない。

封じ込め及び浄化の方法
及び機材

7. 取扱い及び保管上の注意
取扱い

技術的対策

取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行
うための設備を設置する。

局所排気・全体換気
安全取扱注意事項

換気を良くして使用することが望ましい。
 取扱い後は手・顔等を十分に洗い、うがいをする。
 酸性の製品との接触を避ける。酸性の製品と接触す
ると、塩素ガスを発生する。
 酸性タイプアルコール製剤との接触を避ける。
 酸性タイプアルコール製剤と接触すると、塩素ガス
を発生する。

保管

安全な保管条件

密栓した容器に保管する。
 直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。
 他のものと混同しないように保管する。
 酸性物質と一緒に保管しない。

安全な容器包装材料

他の容器に移し替える場合は、当社指定の専用容器
を使用する。(商品名、使用方法、注意事項を明記し
た専用容器)

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
次亜塩素酸ナトリウム	未設定	未設定	未設定
水酸化ナトリウム	未設定	【最大許容濃度】 2mg/m3	TWA -, STEL C 2 mg/m3
アルキルエーテル硫酸エ ステルナトリウム	未設定	未設定	未設定

保護具

呼吸器の保護具

必要に応じてマスクなどを着用

手の保護具

ゴム手袋

眼の保護具

保護眼鏡

皮膚及び身体の保護
具

保護衣

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態

液体

形状

液体

色

淡黄色透明

臭い

原料臭

臭いのしきい(閾)値

データなし

pH

11.3±0.5(1%水溶液、25°C)

融点・凝固点

データなし

沸点、初留点及び沸騰範
囲

データなし

引火点		引火せず
蒸発速度		データなし
燃焼性(固体、気体)		データなし
燃焼又は爆発範囲	下限 上限	データなし データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度		データなし
比重(密度)		1.070±0.02g/cm ³ (25°C)
溶解度		水と任意の割合で混合
n-オクタノール／水分配 係数		データなし
自然発火温度		データなし
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		データなし
動粘性率		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		情報なし
化学的安定性		空気、熱、光、金属などにきわめて不安定である。 放置すると徐々に有効塩素を失う。
危険有害反応可能性		塩素系の為、酸性物質や酸性タイプのアルコール製剤と 接触すると有毒な塩素ガスが発生する。 アルミニウム、すず、亜鉛等の金属を腐食して水素ガスを 発生する。
避けるべき条件		酸性物質、酸性タイプのアルコール製剤との接触。 高温での放置。
混触危険物質		アルミニウム、亜鉛、コバルト、ニッケル、銅などの金属及び その塩類との接触
危険有害な分解生成物		塩素ガス
11. 有害性情報		
急性毒性	経口	急性毒性推定値が5000mg/kg超のため区分外に該当。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。
	経皮	急性毒性推定値が5000mg/kg超のため区分外に該当。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。
	吸入	(気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) データ不足のため分類できない。 (粉じん・ミスト) データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		区分1の成分合計が10.99%のため、区分1に該当。
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性		眼区分1の成分合計が10.99%のため、区分1に該当。
呼吸器感作性又は皮膚感作性		(呼吸器感作性) データ不足のため分類できない。 (皮膚感作性)

生殖細胞変異原性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。
発がん性 生殖毒性		データ不足のため分類できない。 (生殖毒性) データ不足のため分類できない。 (生殖毒性・授乳影響) データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 特定標的臓器毒性(反復ばく露)		区分1(呼吸器)の成分が4.99%のため、区分2(呼吸器)に該当。 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。 毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。 ※区分2(全身毒性)は6%含まれる。 動粘性率が不明のため、分類できないに該当。
吸引性呼吸器有害性		
12. 環境影響情報		
水生環境有害性(急性)		区分1×毒性乗率の成分合計が60%のため、区分1に該当。
水生環境有害性(長期間)		区分1×毒性乗率の成分合計が60%のため、区分1に該当。
オゾン層への有害性		データ不足のため分類できない。
13. 廃棄上の注意		【7. 取扱い及び保管上の注意】を参照する。 特別管理産業廃棄物処理基準に従う。 使い終わった容器は、よく洗ってから処理する。
14. 輸送上の注意		
国際規制	海上規制情報 Marine Pollutant Transport in bulk according to MARPOL 73/78,Annex II ,and the IBC code.	非該当 applicable Not applicable
国内規制	航空規制情報 陸上規制 海上規制情報 海洋汚染物質 MARPOL 73/78 附 属書II 及びIBC コー ドによるばら積み輸 送される液体物質	非該当 非該当 非該当 該当 非該当
緊急時応急措置指針番号	航空規制情報	非該当 なし
15. 適用法令		

労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9) 危険物・酸化性の物(施行令別表第1第3号) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)
水質汚濁防止法 海洋汚染防止法	水酸化ナトリウム(政令番号:319)(5%未満) 腐食性液体(労働安全衛生規則第326条) 指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3) 個品運送P(施行規則第30条の2の3、国土交通省告示)
外国為替及び外国貿易法	有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1) 輸出貿易管理令別表第1の16の項
道路法	車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本 高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第 2)
水道法	有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令10 1号)
労働基準法	疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条 別表第1の2第4号1)
16. その他の情報 参考文献	製造元メーカー提供資料 NITE GHS分類結果一覧 JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法 JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報 の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全デー タシート(SDS) 経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス 日本ケミカルデータベース(株)SDS作成システム 「ezSDS」により作成。
その他	その他 危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、 取扱いには十分注意して下さい。